

三機工業独自の支援制度(単体) (2026年4月現在)

分野	制度	内容
就業	リフレッシュ休暇制度	勤続年数5年ごとに備蓄年休を利用し、連続5日間の休暇
	施工管理者連続休暇制度(施工管理者向け)	常駐6カ月以上経過時点や次の現場への異動時に連続3日間の休暇
	半日年休・時間単位年休制度	有休を半日・1時間単位で取得可能
	アニバーサリー休暇制度	自身や家族の特別な日を宣言し計画的に有給休暇を取得
	三機スマイルデー	毎月の給与支払日に全(半)日有給休暇の取得とノー残業を推奨
	備蓄年休制度	育児・介護・ボランティアに備蓄年休を利用可能
	在宅勤務・テレワーク制度	育児・介護や天災事変・パンデミック等の緊急事態時において業務効率向上や事業継続(BCP)を目的とした制度
	休日振替制度	日曜日、祝日、年末年始、土曜日等の休日に出勤した際に、休日を他の労働日に振り替えることができる制度
育児・介護	スライド勤務	業務都合、あるいは業務外事由でも支障のない範囲で始業・終業時刻を前後にスライド可能
	キャリアリターン制度	会社都合を除くやむを得ない理由で退職した元従業員の再就職の申し込みが可能
	短時間勤務等	育児・介護のために勤務時間の短縮またはスライドのいずれかが適用が可能。育児は小学校3年生まで適用可能
	育児・介護特別休暇制度	育児・介護を目的として、20日間取得することが可能な当社独自の制度(分割取得可)

※当社グループでは、一部には法定基準を超える育児・介護支援制度を設け、啓発活動を行うことで、従業員が活躍できる環境を整備しています。

 各種支援制度
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/employee/2026>

障がい者雇用と職場環境整備

当社グループは、障がい者の採用を継続的に実施するとともに、障がい者雇用の現状を踏まえて、障がいのある従業員も安心してより長く活躍できる環境づくりに努めています。具体的には、聴覚障がい者を対象に課題解決処理研修や意見交換の実施、Web研修や決算説明会の字幕付き配信を行っています。また、管理職の理解促進を目的とした研修の開催、災害時に聴覚障がい者に避難指示を知らせるランプを全社で設置しています。なお、障がい者雇用率は、2025年6月1日時点で2.25%(単体)、2.20%(連結)、2026年6月1日時点では2.28%(単体)です。採用活動では、募集を継続すると同時に、各部署とのマッチングや、受け入れに関するケアを行っています。

健康経営

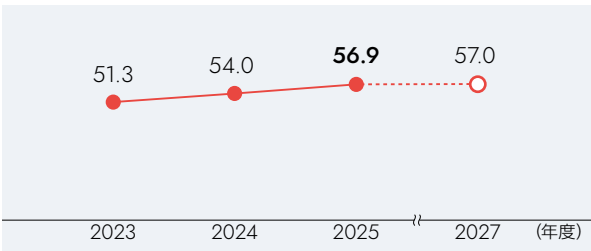
健康増進イベントや産業医による生活習慣改善指導、従業員とその家族を対象とする24時間対応の外部健康相談窓口の設置など、健康支援を推進しています。また定期的なストレスチェックや管理職研修、メンター制度を通じたメンタルヘルスケアも推進しています。2025年度は、ウォーキングイベントや適切な飲酒に関するセミナーの開催や禁煙支援などを実施しました。



従業員エンゲージメント

「中期経営計画 2027」においてエンゲージメントスコアの目標をアップデートし、2027年度までに「57.0」へ引き上げました。この達成に向けて、これまで以上に会社と従業員のコミュニケーションを密に行う機会を継続的に設けていきます。2025年度は低スコアの部門へ改善に向け、フォローアップ相談会を実施しました。また、2016年度より社長をはじめとする経営陣と従業員との対話の場を設けています。2025年度からは「MCU (MIRAI Communication UP)」として開催し、2026年度は全支社・支店12カ所をめぐり、計149名と各部門の執行計画や超長期ビジョン「選ばれ続ける三機へ!」となるために必要な取り組みなどについて対話しました。

エンゲージメントスコア*



※株式会社リンクアンドモチベーション「モチベーションクラウド」を利用して算出した、会社の目指す姿や方向性に対する、従業員の理解・共感の度合いを測る偏差値(標準スコア50.0)



サプライチェーンの取り組み

基本的な考え方

「三機工業グループ行動規範・行動指針」に、自由な市場競争の促進、お取引先との対等・公正・透明な取引関係を定めています。さらに「サステナブル調達方針」「人権方針」「マルチステークホルダー方針」「環境方針」を定め、お取引先との連携による高品質な設備やサービスの提供と信頼関係の構築に努めています。

-  サプライチェーンの取り組み・三機工業グループサステナブル調達方針
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/scm/2026>
-  マルチステークホルダー方針
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/governance/multistakeholder/2026>
-  三機工業グループ人権方針
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/human-rights/2026>
-  三機工業グループ環境方針
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/environment/management/2026>

お取引先とのパートナーシップ

お取引先との対等・公正・透明な取引関係の構築は、三機工業グループが社会的責任を果たし、持続可能な発展をしていく上で、非常に重要な要素と考えています。風通しのよい関係構築のために、どなたでも利用可能な「企業倫理ホットライン」および協力会社通報相談窓口を設けています。2025年度の通報件数14件にはすべて適切に対応しています。

 内部通報制度
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/governance/compliance/2026>

協力会社の技術力維持向上

協力会社への助成金制度を設け、各部門で適切に運用することに加え、協力会社の新入社員や中堅社員向け技能研修でも、三機テクノセンターを研修場所として活用しています。さらに、教育の一環として、当社の新入社員研修では協力会社の方による指導も行い、相互に技術力の維持向上を図っています。

協力会社の経営安定化の支援

当社は、「パートナーシップ構築宣言」を掲げる企業として、これまでもお取引先に対する支払い条件の改善を実施してきました。「中期経営計画 2027」においても、さらなる改善を掲げており、2025年10月にすべての協力会社への支払いを全額現金振込に変更するとともに、お取引先に対する振込手数料を全額当社負担としました。今後は、協力会社の課題をアンケート方式により収集・現状把握し、その結果を踏まえて

対応策の立案につなげていく計画です。

お取引先との連携強化

お取引先との意見交換や実態評価、協力会を通じて対話を深め、サプライチェーン全体の品質向上や業務改善を図っています。

お取引先との対話

対話方法	内容
意見交換	主要なお取引先やメーカー*を訪問し意見交換会を行っています。2025年度は、いただいた要望をもとに余裕を持った価格回答期間の設定や早期の仕様決定、物件情報の事前共有などの改善を行いました。意見交換会の内容は、調達関係者が出席する会議で社内へ周知し、調達活動に活かしています。
実態評価	安全管理等にかかわる評価を毎年度行っており、評価結果はお取引先を訪問して、直接フィードバックを行います。改善のための情報交換を適宜行う中で、お取引先における管理能力の向上を目指しています。新規のお取引先では、取引開始時に各拠点で共通した取引先評価表を用いて財務状況や品質・環境マネジメント状況などの多面的な評価を行い、問題がないことを確認しています。
「協力会」を通じた協働による改善活動	当社では、施工体制強化のために、支社・支店・事業部ごとに協力を設け、月1回の定期連絡会や、施工省力化プロジェクトの実施、研修会を通じた技術向上や品質管理、労働安全衛生管理の徹底などに努めています。また、当社従業員による安全衛生・資格取得教育や、合同安全パトロールなどを実施し、安全衛生管理状況の確認や指導も行っています。 「全国三機安全衛生協力会」のブロック会議および全国会議を開催し、当社担当役員も出席してお取引先を含めたグループ全体の安全意識の維持・向上を強く喚起しました。さらに、協力会の自主的な現場見学の開催など、施工に直接携わる協力会社の主導により本会を行うことで、災害予防に対する意識の向上が期待されています。 ●ブロック会議：2025年7月開催 西ブロック(4協力会)、東ブロック(7協力会) ●全国会議：2026年3月開催 ●のべ当社グループ関係者27名、協力会30名

※訪問先は、当社取引における重要度、取引金額等を勘案の上、毎年度選定しています。

 2025年度意見交換会の主なテーマ
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/scm/2026>

 安全衛生教育 <https://www.sanki.co.jp/sustainability/social/safety/2026>